



## びわ湖会議の歩み

### 「せっけん会議」から「びわ湖会議」へ、 水環境を守る運動へ（1987年～1999年）

#### びわ湖会議第1期

せっけん運動10年を機会に、略称「せっけん会議」から「びわ湖会議」へ。「びわ湖の水をこれ以上汚さないため、県民がこころを一つにして美しいびわ湖を取り戻そう」の願いを込め、洗濯や食器洗いにせっけんを使いましょう！廃食油や煮汁、調理屑は流しに流さないようにしましょう！の実践項目が掲げられ、せっけん使用推進から、広くびわ湖の水環境を守る運動へと、ひとまわり大きな運動へと変わって行くのです。

#### びわ湖会議の動き

1987（昭62）

- 総会で「せっけん使用推進運動から水環境を守る運動」へと活動拡大方針決定

1988（昭63）

- 「びわ湖会議」と名称変更
- せっけん運動10周年記念集会



1988年  
せっけん運動10周年記念集会

滋賀会館にて。シンボルマークやキャッチフレーズ「～すきとおる琵琶湖を未来へ～」を決定したほか、基調講演、パネルディスカッションなどを行いました。またこの年は、せっけん使用推進だけでなく幅広い水環境保全へと展開を図った節目の年です。

- シンボルマークとキャッチフレーズを決定

1989（昭64/平元）

- 3カ所で河川水質調査を実施

1990（平2）

- 機関紙「H<sub>2</sub>O～すきとおる琵琶湖を未来へ～」創刊



1990年  
機関紙「H<sub>2</sub>O～すきとおる琵琶湖を未来へ～」創刊

このころから「びわ湖会議」と参加団体や県民との連携を強め、裾野の広い開かれた水環境保全運動としていくため、広報や情報提供活動を強化しました。

- せっけん・水環境活動普及アドバイザーを設置



1990年  
せっけん・水環境活動普及アドバイザーを設置

各地域で催される学習会や研修会からの要請に応えることができるよう、指導的な立場となる「せっけん・水環境活動普及アドバイザー」を結成しました。

- 川と暮らしのシンポジウムを開催
- 琵琶湖条例10周年記念行事（うみのこフェスタ'90）に出展参加

1991（平3）

- 水環境シンポジウムを初めて開催

#### びわ湖（滋賀県）に関する動き・環境に関する動き

1987（昭62）

- 「抱きしめてBIWAKO」実施

1989（昭64/平元）

- 環境庁が、絶滅のおそれのある野生動物をリストアップした「日本版レッドデータブック」を発表

1990（平2）

- 「生活廃水対策推進要綱」制定



**1991年**  
水環境シンポジウムを初めて開催

県内各環境保全団体の交流を図るため、県内2カ所（草津市、朽木村）で開催。実際に水に触れる体験型のシンポジウムとし、若い層に対して水質保全の大切さを訴えかけました。

**1992 (平4)**

- せっけん普及月間街頭一斉啓発
- 水環境ジュニアシンポジウムを開催

**1993 (平5)**

- せっけん普及月間街頭一斉啓発



**1993年**  
せっけん普及月間街頭一斉啓発

せっけんの使用や水を汚さない生活の実践を訴えかける街頭啓発。大津市、草津市など県内9カ所で、せっけんのサンプルや水切り袋、風船の配布などを行いました。

- 情報誌「かわらばん」発行
- 「Re・サイクルINびわ湖」において「しゃぼん玉フェスタ」を開催
- 啓発誌「環境にやさしい湖国の暮らし」発行

**1994 (平6)**

- せっけん・水環境活動普及アドバイザー制度をせっけん・水環境活動推進員制度に変更

**1995 (平7)**

- 水を守る暮らしを若い人たちと考えるフォーラムに参画

**1996 (平8)**

- 淡海エコライフフェアに参加



**1996年**  
淡海エコライフフェアに参加

水環境シンポジウムの一環として「エコライフフォーラム」を開催。ゲストパネラーに藤本統紀子氏を迎え、水環境を中心とした疑問や問題点についての具体的な解決策を考える機会となりました。

**1997 (平9)**

- (仮称)環境チェックポイント集検討委員会設置
- (仮称)環境チェックポイント集試行版完成

**1998 (平10)**

- 結成20周年
- 淡海エコカレンダー完成
- 20周年記念シンポジウム開催



**1998年**  
20周年記念シンポジウム開催

20年のびわ湖とびわ湖会議の歩みを振り返り、それを踏まえた上で現状を認識し、これからのびわ湖会議のあり方をみんなで考えるため開催した。300人が参加。

**1999 (平11)**

- 20周年記念誌発行

**1992 (平4)**

- リオデジャネイロ（ブラジル）にて「地球サミット」が開催される
- 「ヨシ条例」「クリーン条例」施行

**1993 (平5)**

- 琵琶湖、ラムサール条約の登録湿地に

**1994 (平6)**

- '94淡海環境フェア開催
- 北湖に初めてアオコが発生
- びわ湖大濁水 (-123cm)

(琵琶湖大濁水前)



(琵琶湖大濁水)



**1995 (平7)**

- 第6回世界湖沼会議開催（霞ヶ浦）
- 「アジェンダ21」策定

**1996 (平8)**

- 「環境基本条例」「みずすまし条例」施行
- 琵琶湖博物館開館

**1997 (平9)**

- 「滋賀県環境総合計画」策定
- 地球温暖化防止京都会議が開催される

**1998 (平10)**

- 「日本の水浴場55選」に近江八幡市の宮ヶ浜が選ばれる
- 第三次「湖沼水質保全計画」策定

**1999 (平11)**

- 「アイドリングストップ条例」施行
- 地球温暖化アジア太平洋地域セミナー彦根市で開催



**1999年  
20周年記念誌発行**

2001年には滋賀県で開催される世界湖沼会議に向け、英語版が完成。

**●水とふれあう学習・交流会開催 (in荒神山)**



**1999年  
水とふれあう学習・交流会  
開催 (in荒神山)**

約100人のガールスカウトの皆さんと、水に関する化学実験・水環境ラリー・意見交換などを行いました。子どもたちと一緒に水の大切さを考えるいい機会となりました。

**●地域環境保全功労者表彰 (環境庁長官表彰) を受賞**



**1999年  
地域環境保全功労者表彰  
(環境庁長官表彰) を受賞**

びわ湖会議の地道な活動が評価され、環境月間行事の一環として環境庁が実施した「地域環境保全功労者表彰」を受賞しました。